

## ザイトロン™アミン液剤の使用方法(登録内容)と注意事項

種類名:トリクロビル液剤 ●有効成分:トリクロビル…44.0% ●その他の成分:水等…56.0% ●人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当たり薬量 又は希釈倍数	10アール当たり又は 1株当たり使用液量	本剤及びトリクロ ビルを含む農薬の 総使用回数	使用方法
日本芝	公園、庭園、 堤とう、駐車場、 道路、運動場、 宅地、のり面等	一年生広葉雑草、 クローバー、チドメ グサ等の多年生 広葉雑草	雑草生育期	200~600ml	150~200ml	3回以内	雑草茎葉散布
樹木等		一年生広葉雑草 多年生広葉雑草		500~1000ml	200~250ml		植栽地を除く樹木 等の周辺地に雑草 茎葉散布
すぎ・ひのき (下刈り)	造林地	ニセアカシア	3月~9月	20倍	10~20ml/株径10cm	2回以内	切株処理
				3倍	3ml/樹径8~9cm		立木処理
林木	造林地	落葉雑かん木 一年生広葉雑草 多年生広葉雑草 クズ	雑草木の 新葉展開後~ 生育期	350ml	30ml	2回以内	雑草木茎葉散布
		雜かん木	4月~10月	10~15倍	45ml/株径15cm		切株処理
		クズ		25倍	10~20ml/株径3~5cm		株頭処理
		クズ・フジ等のつる類	11月~5月	3倍	1ml/株		つる切り処理
		ニセアカシア	4月~10月	2~3倍	0.5~2ml/株径2~5cm		切株処理
			3月~9月	20倍	10~20ml/株径10cm		立木処理
				3倍	3ml/樹径8~9cm		

### 効果・薬害等の注意事項

- 使用の際は着用剤を加用して下さい。
- 適用作物以外の作物(果樹等)には薬害を生じる恐れがあるので使用しないで下さい。
- 広葉雑草の中、オオバコ、スイバ等には効果が劣るので、それらの優占する所での使用は避けて下さい。
- また、カタバミにも効果が不十分な場合があるので、カタバミの多い所では所定の範囲の多めの薬量で使用して下さい。
- メヒシバ、ススキ、ササ類等イネ科の雑草には効果がないので、それらの多い所では使用しないで下さい。
- すぎ、ひのきの下刈り代用として落葉かん木に使用する場合、樹高1.5m以上のかん木に對しては効果が劣るので、樹高1.5m以下の時期に使用して下さい。
- また、ムラサキシキブ、リョウブ、クロモジ等、また大きな切株からの太い萌芽及び常緑かん木には効果が不十分ですので、それらの優先する所での使用を避けて下さい。
- 林木に直接かかると薬害を生じる恐れがあるので、からないように散布して下さい。
- 雜かん木及びニセアカシアの切株処理に使用する場合は、株の側面にナタ等で傷をつけてから、切り口及び側面に薬液が十分付着するように散布して下さい。
- クズの株頭処理に使用する場合は、株際よりつるを切断した切り口に薬液が十分付着するように処理して下さい。
- クズ・フジ等つる類のつる切り処理に使用する場合は、1~3カ所ナタ等でつるに傷をつけた後、切り口に薬液が十分付着するように処理して下さい。
- ニセアカシアの立木処理に使用する場合には、幹の周囲に切れ目なく切傷をつけてから、その部分に薬液が十分付着するように処理して下さい。
- 対象雑草木の葉が十分展開した後に茎葉全面に均一に散布して下さい。
- なお、散布が遅れると効果が不十分となるので使用時期を失しないように注意して下さい。
- 激しい降雨が予想される場合は、使用を避けて下さい。
- 散布後の降雨は効果を減るので、天候を見定めてから散布して下さい。
- また、降雨後に散布する場合は、雑草が乾いてから散布して下さい。
- 果樹・野菜他の農作物等また、草花・植木等の有用植物には薬害を生ずる恐れがあるので、付近にこれらの有用植物がある場合は、飛散・流出しないように十分注意して下さい。
- 水源地等に本剤が飛散・流入しないように十分注意して下さい。
- 日本芝に使用する場合は、ラベル記載の日本芝に使用する場合の注意事項を守って下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにして下さい。

【輸入元】

コルテバ・ジャパン株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町二丁目11-1 (山王パークタワー)

【製造・販売元】

日産化学株式会社

〒103-6119 東京都中央区日本橋二丁目5番1号

クズ・つる類等雑草木

広葉雑草

除草剤

# 広がるクズをストップ!

家まわりから造林地まで  
広がるクズ対策に



特長

● 植物の増殖・伸長を阻害しクズを枯殺

● 被害状況にあわせ様々な処理方法(散布・滴下等)で  
いつでも防除可能

● クローバーやタンポポ類等広葉雑草にも優れた効果



広がるクズ被害の様子



勢いよく繁殖するクズ



納屋を覆い尽くすクズ

TM:コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

# クズ対策に効果的なザイトロン™アミン液剤の処理方法

生育初期のクズはある程度刈り取りできますが、生育が進み繁茂状態になると刈り取りにも限界があります。

除草剤で根を枯殺しなければ、クズの繁殖を止めることは困難です。

ザイトロンが“広がるクズをストップ!”します。ここでは、ザイトロンの効果的な処理方法をご紹介いたします。

## ザイトロン™アミン液剤の処理方法



ご使用の前に クズの繁茂する辺り(薬剤散布予定場所)に、クズ以外の樹木や植物が植えられていないかどうか確認を行って下さい。その上で下のA・Bいずれかの方法で処理を行って下さい。

注意:クズ以外の樹木や植物に薬剤が直接かかると薬害を生じる恐れがあります。

### A 周辺に植栽のない場合

カラッと晴れた日の雑草茎葉が乾いている状態で使用して下さい。風のある日はなるべく避け、やむを得ない時は必ず風を背にして作業して下さい。

#### 葉や茎から薬剤を吸収。刈り取り不要! 雑草木茎葉散布方法



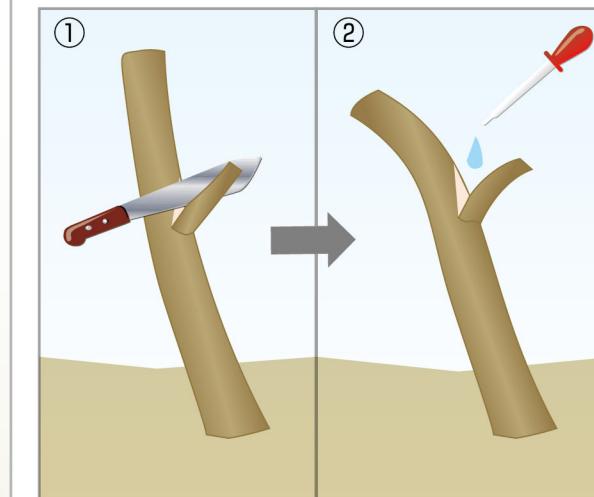
新葉が展開し生育が盛んになった時に、噴霧器等で茎葉にザイトロンを全面散布。

注意:散布の際は農薬用マスク、手袋、保護メガネ、長ズボン・長袖の作業衣等をつけ、散布液を吸い込んだり、多量に浴びたり、眼に入ったりしないよう注意して下さい。

### B クズ + クズ以外の樹木や植物も植えられている場合(造林地)

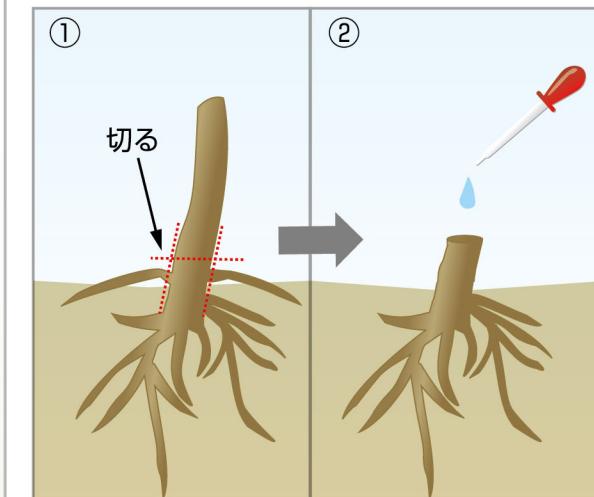
薬剤は根元へ処理しますので、クズの葉が勢よく生い茂っている場合は、根元が見えるようになるまで葉と茎の刈り取りを行って下さい。

#### つる成長期の春～秋の処理に最適 つる切り処理方法



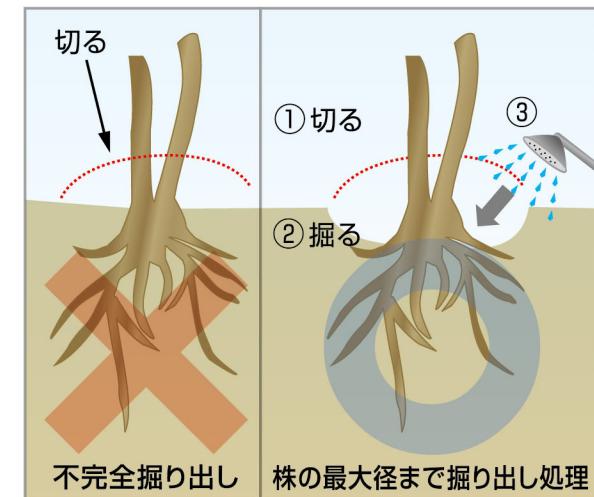
- ①立ち上がり木化しているつるに1～3ヵ所ナタ等で傷をつける。
- ②スプイト等で切り口にザイトロンを十分付着するように滴下。

#### 落葉後の株が見える秋～春の処理に最適 株頭処理方法



- ①立ち上がっているつるを株際で水平に切る。
- ②スプイト等で切り口にザイトロンを十分付着するように滴下。

#### 根元への直接処理で確実に枯殺 クズ切株処理方法



- ①立ち上がっているつるを株際で切る。
- ②株の最大径まで掘る。
- ③噴霧器等で根元にザイトロンを散布。

注意:クズ以外の樹木や植物に薬剤が直接かかると薬害を生じる恐れがあるので、からないように散布して下さい。